

1. 策定の趣旨と見直しの視点

○道では、当面、取り組むべき経済施策の方向性を示すため、昨年8月に「本道経済の活性化に向けた基本方針」を策定。○新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた本道経済の再活性化に向け、今般、「基本方針」を改定。

(1) 感染症による経済・雇用への影響

- ポイント
① サービス業中心に、需要消失による売上大幅減
② 影響長期化による倒産や廃業増への懸念
③ 全国的には拠点の一極集中によるサプライチェーンの毀損や事業継続リスクの顕在化

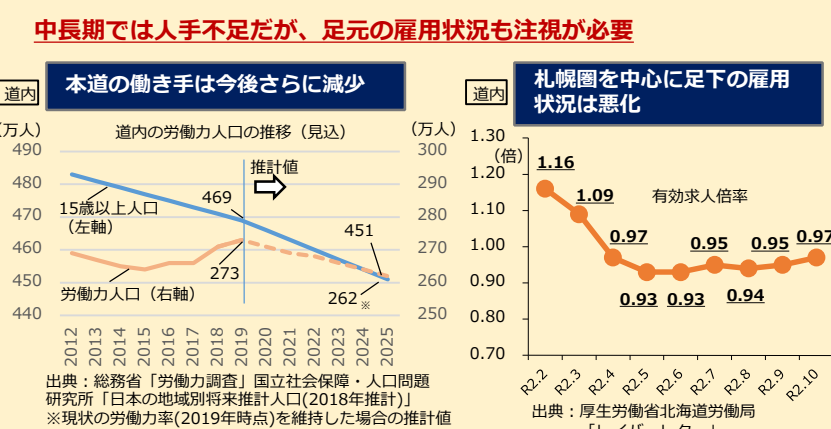
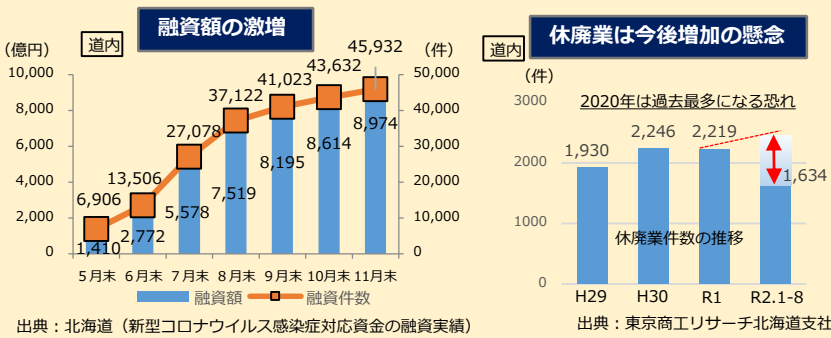
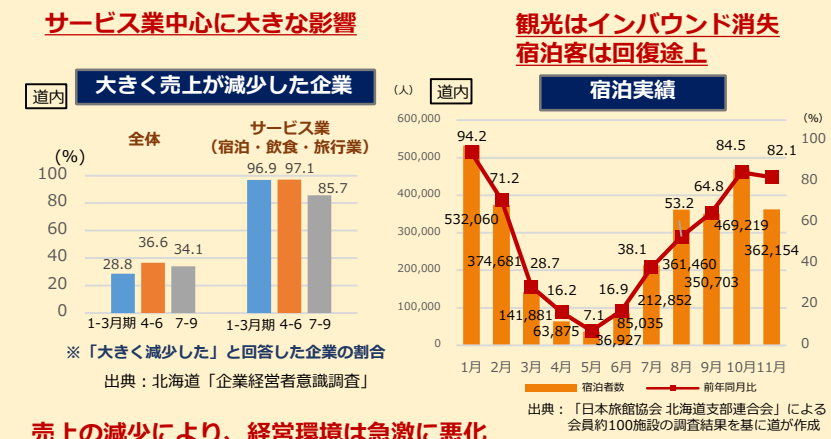


Table showing '首都圏一極集中に変化' (Change in concentration) and '国内回帰も含めたサプライチェーンの再配置の動き' (Supply chain reconfiguration). Includes data for Tokyo's exports and national supply chain trends.

(2) 感染症による社会経済の変化

～変化への対応を再生への原動力に～
3密回避による新たなビジネススタイル・ライフスタイルが急速に浸透
① 非接触、非対面スタイル
② 需要減、稼働率減での売上・収益確保



(3) 改定の考え方

- ① ウィズコロナ対策
② ポストコロナを見据えた対策

本道の優位性を活かし、社会経済の変化で生じる新たな需要を取り込み、経済の再活性化に挑戦。
ウィズコロナ・ポストコロナ時代の経済施策として、「基本方針」を改定。

2. 施策の柱立てと主な取組

Main table of strategies with 4 columns: ① ウィズコロナの長期化を見据えた中小・小規模企業の維持・継続等, ② 北海道ブランドの発信力のパワーアップ, ③ ポストコロナを見据えた新たな社会経済の変化への対応力強化, ④ ポストコロナを見据えた人材の育成・確保. Each column lists key areas and specific measures.

・各施策の掲載順は施策全体の流れを考慮して整理したもので、施策としての優先順位ではありません。